
創作カフェ 小説のレシピ

もなか

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

創作カフェ 小説のレシピ

【Nコード】

N5107Z

【作者名】

もなか

【あらすじ】

商業誌経験もある著者が、ネット小説を始めたものの、悪戦苦闘の連続で…。これは著者の個人的な活動記録や悩み（アクセス、感想等）、小説について考えたことなどを書く、エッセイというより単なる駄文です。小説の書き方とか、たいそうなものではありません。

舞台裏的なことは知りたくないという方は回れ右してください。
気まぐれ不定期更新。

評価・レビューは受け付けておりません。

無断引用・リンク等はお遠慮ください。

ネット小説、やっつてはみたが

いらつしやいませ！ 店主のもなかと申します。

私が「小説家になりたい」と思ったのはかれこれもう十年近くも前のこと。念願のデビューを果たしたものの、上手くいかず結局休筆。それでも小説を書きたいと、ネットで公開することにしたのが2010年の夏。ところが、それ以来、悪戦苦闘の日々が始まりました。

この「カフェ」ではそんな私の活動の記録、悩み、小説に関して考えていることなどを語っていきたいと思っています。「小説の書き方教えます」とか、そんな大仰なものではありませんので、暇な時にぶらつと立ち寄って、よかつたらお喋り（コメント）なんかしていただいて、他の方々と活動上の悩みやノウハウを共有したり、一緒に小説について考える場になってくれたらいいな、と思っております。どうぞ、よろしくお願い致します。ただ、小説を読むのは好きだけど舞台裏的なことは知りたくない、という方はここで回れ右していただいたほうがいい……かもしれせん。

先ず、簡単に活動経緯を。

*筆歴：創作サークル 出版社に投稿 デビュー、商業誌 休筆
ネット 書いてる歴は休筆期間を除いてほしい十年以上になります。

*ネットでの活動

2010年7月／ブログを始める。最初は本の感想や雑記、小説投稿サイトの更新報告などを載せていたが行き詰まり、長編小説の連載（投稿サイトのコピペ）をするも、11年10月に閉鎖。

2010年9月／「なるつ」ではない他社サイトで長編小説の連載を開始。3本の作品を掲載したが、機能や運営への不満から11年11月に退会。

2011年10月/「なるう」で活動開始。
2011年11月/電子書籍サイトで活動開始。

1年ちよつと他社サイトで活動してきたわけですが、機能が不満ならなぜ最初から「なるう」を利用しなかったのかと言うと、長い間サイト名で「小説家デビューを目指す人のサイト」だと勘違いしていたからなんです（すみません）。そうではないと知り、機能もよさそうだと思って乗り換えました。

*店主の悩み・その1『読者が増えない』

そうやってサイトを乗り換えてみたものの……前のサイトの時から悩んでいたことは、一向に解消してくれません。いやむしろ、ひどくなっていると言ってもいい。

それは、『アクセスが少ない』『従って、感想等も少ない』ということ。

このサイトに入会した時、あまりのユーザー数の多さにアクセスのケタが増えることも一瞬期待しましたが、作品数の多さに逆に埋もれてしまつて今まで以上にアクセスされないのでは、という不安もありました。実際に作品を公開してみると、不安的中。最初だけ前のサイトと同じ程度にはあったアクセスが、12月に入ってから早くも減つてきました。まだ3ヶ月目で、完結してから1ヶ月もたつていない作品だつてあるのに。特に、シリーズの2作目が厳しい。1作目が読まれていないので、0の日が週に何度もある（2作目から読んでもらつても、良いんですけどね……）。現在、閑古鳥の声を聞きながら全作品連日アクセス0になりはしないかと怯える日々なのです。

そして、前のサイトでも越えられなかったのが、『週間ユニーク100の壁』。たまに1日だけアクセスが多い日があつても、そのあと読みに通つてもらえないので、増えないのです。このサイトだと100以上になつたのは完結直後だけです。普段は100どころ

ています。書いたからには、多くの人に読んでもらいたい。それはどんな人でも同じ気持ちだと思います。せっかく、ネットという便利なツールを利用してはいるのだから、読みたいと思ってくれる人のところへ確実に作品を届けたいですよ。

次回以降は具体的な問題点とその解決法を考えていきたいと思いません。ぜひ次も見てくださいね！

こんなふうに悩んではいますが、読んでくださった方、お気に入り登録してくださった方、感想をくださった方にはすごく感謝しております。実際に本を出版して、1冊売るのがどんなに大変か身に沁んでいますから、「自分の作品を読んでもらえること」は本当にすごいことだと改めて思います。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5107z/>

創作カフェ 小説のレシピ

2011年12月17日12時03分発行